

森林文化講演会報告 「人と森のかかわり」 講師 岩井吉彌氏**2011年11月27日（日）会場：桜美林大学プラネット淵野辺キャンパス*70名出席****森林文化部会 小笠原 多加子**

今年度は昨年の全国植樹祭関連の林業後継者大会で基調講演を行って頂いた岩井先生（林業家・元京都大学教授）を京都からお招きして講演をしていただきました。

丸太磨きや台杉で有名な京都北山のご出身で生家も林業家という環境で育ち、お父様亡きあとにご自身も教授と林業家の二束のわらじでご活躍されてきました。今までの講師の方と違い自らも林業家で林業の難しさ等を体験されておられるので我々も身近に感じられる一面も多々ありました。

森林率（国土面積に占める森林面積）は世界第3位、林業の歴史はもっとも古いといわれる日本は世界屈指の森林国であるのに欧米諸国とは自然等の環境意識に各段の差があり驚かされました。欧米では森林は人々の暮らしには欠かせないものになっていました。例えば、クリスマスツリーや薪等の燃料、建築材料、休暇の過ごす場所等です。そのためか環境意識も高いようです。

講演後は先生を囲み茶話会を開催して身近にお話をさせて頂きました。

参加者からも熱いトークがでていました。

アンケートにも ・日本の林業の難しさと欧米と日本の森林文化の違いを感じた。 ・欧米人の森林の関心度の高さを感じる。 ・この先の日本の森はどうなるのか？ ・人と森のかかわりを再認識した。 ・グリーンツーリズムを体験してみたい等のいろいろな感想を頂きました。

講演会のレジメ、アンケートの集計表等の資料をご希望される方は森林文化部会までご一報ください。3年連続して講演会を開催してまいりましたが会員の皆様のご希望のテーマや講師の方をご存知でしたら、来年度以降の参考にさせて頂きたいと思っておりますのでご連絡いただければ幸いです。

**森林文化講演会・・・熱く語る岩井先生**

写真提供：高橋 修氏（9期）